

新聞に載っているのは、広い意味ですべて情報と呼べますが、大きく分けると、記事と広告になります。記事はさらに、『ニュース (新しい出来事)』『ビュース (意見・論評)』『狭義の情報・知識』『作品』とおもに四つに分けることができます。今回取り上げる広告も、狭義の情報・知識といえます。

新聞を開くと、記事と一緒にいろいろな広告が載っています。現在は経済が低迷していますので、広告のスペースが減っているように思います。授業で実際にどのぐらいが広告なのかを調べさせたことがあります。各ページの広告の面積を計算し、全体の割合を求めます。新聞紙1ページの面積は約2000平方センチです。

新聞記事は、新聞社から読者にニュースや情報、意見を伝えるものですが、新聞広告は、広告主が読者に情報やメッセージを伝えます。本や雑誌、電化製品、パック旅行、通信販売などの商品広告が主ですが、求人広告や映画案内、意見・主張を表明する意見広告、おわび広告、通夜・告別式などを知らせる死亡広告など、様々な広告があります。企業などのイメージアップを狙うイメージ広告などもあり、内容は幅広いです。

(鈴木伸男 全国新聞教育研究協議会顧問)